

☆パワーユニット交換要領【日興製 ⇒ 永興製】

1. ウイングを全閉して下さい。(左右共)
2. キャブ内のメインスイッチをOFFにして下さい。
3. バッテリターミナルの(-)端子を外して下さい。
4. 現車のパワーユニットを取り外して下さい。油圧配管を外す際、配管に番号等の記しを付けるとわかり易いです。
5. 新規にパワーユニットを下記手順にて取付して下さい。

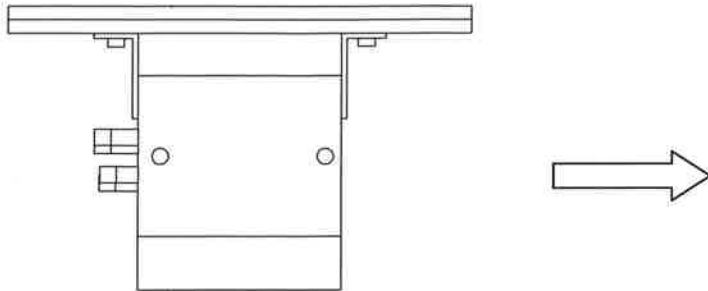


図1 現車:日興電機製ユニット

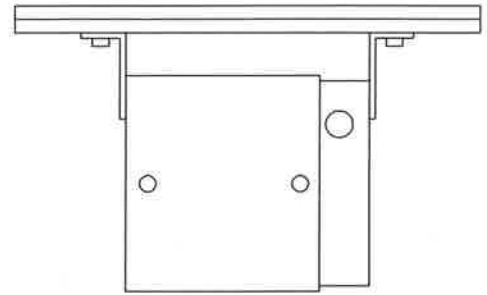


図2 新規:永興電機製ユニット

①旧ユニット(日興電機製)の油圧配管取り外し時
番号(又は印)貼り付け

※右図の記号(アルファベット)は、取説等の配線図内の記号
とは関係ありません。

(必要工具)

- ・スパナ 19^{mm}

【注意】油圧配管の口金具を緩める際、ゆっくり緩め、
少しづつ圧を抜きながら緩めて下さい。

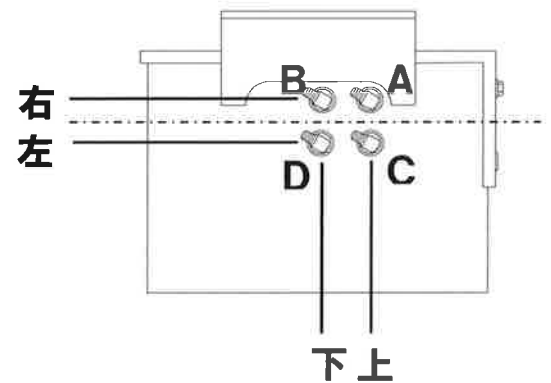


図3 左側面に配管接続(日興製)

②新規ユニット搭載後、①で取り外した配管を
番号(アルファベット)位置に取付して下さい。

※右図の記号(アルファベット)は、取説等の配線図内の記号
とは関係ありません。

【注意】現車に搭載のユニットによっては、配管側の口金具
がオスの場合があります。

ユニット側のポートはオスの金具ですので、新規に
メスタイプの口金具に交換するか、メス×メスのジョ
イントにて取付して下さい。

- ・メスタイプ口金具



- ・メス×メス

ジョイントタイプ

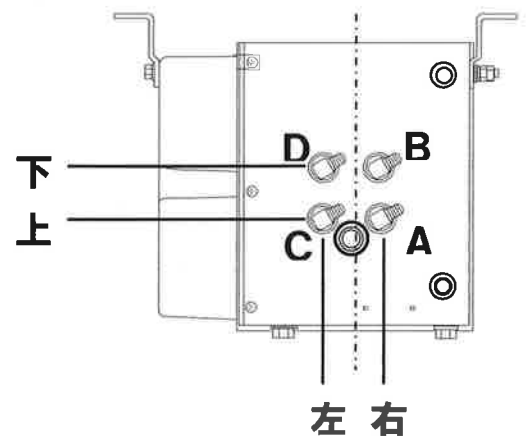
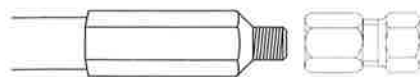


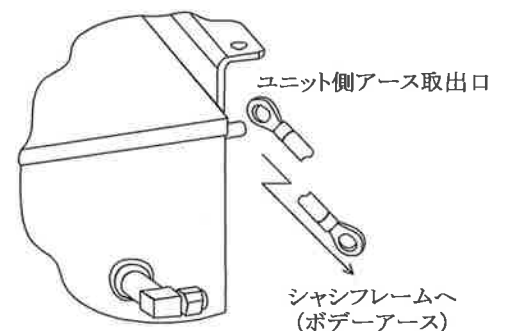
図4 背面に配管接続(永興製)

③新規にユニット(永興製)へ交換した場合は、必ずユニットから
シャシフレームへアース線を取って下さい。

【注意】日興製ユニットには、アース線を取らず、ユニット取付け
ブラケットにてボデーアースしている車輛もあります。

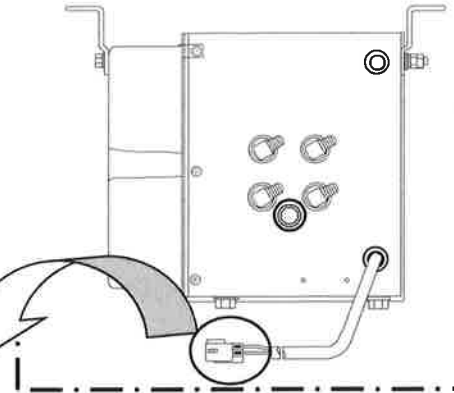
その場合は、新規にアース線を取り直して下さい。

※アースされていないと、ウイングが動かない、遅い等の不良が生じます。



④下記表を参照に、操作スイッチの配線を施工後、キャブ側電源の配線を施工して下さい。

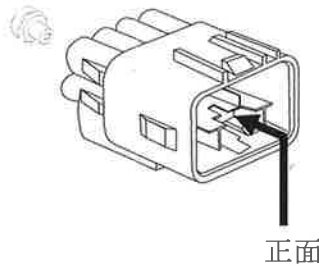
【注意】配線を組む際、配線に防水栓をはめてからコネクタに挿入して下さい。



ユニット側8極コネクタ(オス)

※ユニット側の8極コネクタ(オス)

1	左下げ	白線
2	左(+)	茶線
3	左上げ	黒線
4	キャブ側電源	緑線
5	右下げ	赤線
6	右(+)	青線
7	右上げ	黄線



正面

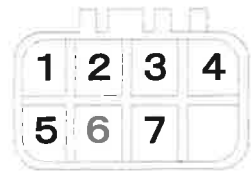
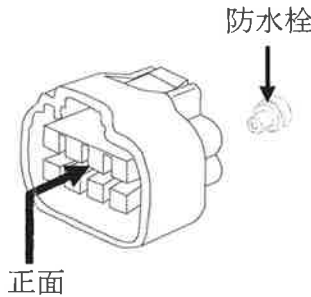


図5 コネクタ正面から見た状態

④-1操作スイッチ側の8極コネクタ(メス)

1	左下げ	青線	旧ユニット のコネクタ
2	左(+)	赤線	白
3	左上げ	白線	ギボシ
4	キャブ側電源	若葉線	旧ユニット のコネクタ
5	右下げ	青線	青
6	右(+)	赤線	
7	右上げ	白線	



正面

防水栓



図6 コネクタ正面から見た状態

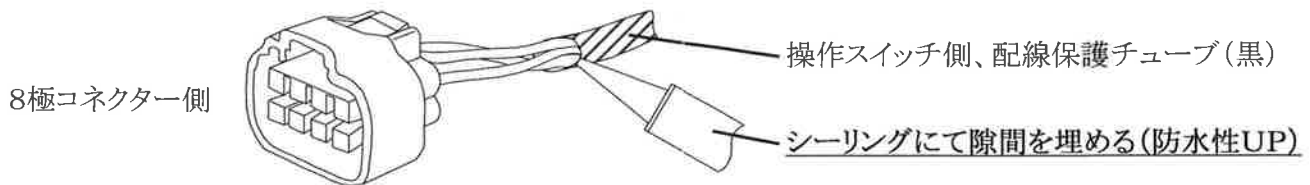
【注意】配線をコネクタに接続する際、防水栓は必ず施工すること！！

防水栓を必ず奥まで押し込んで下さい。防水栓が押し込みきれないと、コネクタ内に水が浸入し、腐食により導通不良が発生します。8ヶ所共防水栓を施工してください。

(1部、配線が無いヶ所にはメクラの防水栓をはめ込んで下さい。)

④-2配線保護チューブにシーリング処置

8極コネクタに操作スイッチ側の配線を施工したら、配線保護チューブと配線の隙間にシーリングして下さい。



8極コネクタ側

操作スイッチ側、配線保護チューブ(黒)

シーリングにて隙間を埋める(防水性UP)

6. ユニット内のアルミオイルタンク内に、作動油を流しいれて下さい。(作動油の目安:約3ℓ)

7. 取り外し手順の3. を取り付け、2. の電源を入れて下さい。

8. ウイングを何回か作動させてください。(左右共)

9. 初期設定をして下さい。ウイングの作動に緩作動が働き出したら完了です。

→ 初期設定要領は別紙を参照して下さい。

10. 初期設定完了後、ウイングの作動に緩作動が働き出したら完了です。

緩作動とは？ 上げきの3秒手前から、ウイングの動きがゆっくりになり、上がりきると自動でモーターが停止します。下げ時も同様に、煽りに当たる手前からゆっくりになり、閉まりきるとモーターが自動停止します。

以上